

雨活パネル

山梨市立北中学校

小平守都

「僕の家は電気も水道もほとんど使わないんだ。僕の言葉に友達は驚いた顔をみせる。」  
「だって僕の家は雨活の家なんだ。」  
「雨活の家？？」  
僕は友達に雨活の家について話したんだ。  
「今はどこの家でも太陽光パネルはついているよね。僕の家はそれと同じように雨活パネルがついているんだ。」

雨活パネルは雨の落下した衝撃をエネルギーに変える事が出来るんだ。

雨活パネルを通過した雨水は一ヶ所に集められ、水車を回す。雨水で二回も発電できるんだ。集めた雨水はろ過され、洗濯物カトイシの排水に利用できるんだ。晴れの日は太陽光パネルが雨の日は雨活パネルが電気を作ってくれているんだ。

それにね、今まで僕の家ではトイレの排水だけで一ヶ月の水道使用量の約四割も使っていた事がわかったんだ。だけど雨水を利用して、水道使用量が半分に減ったんだ。

二×二×年、日本は原子力発電による電気の供給を完全にはい止した。

それにともない次世代エネルギーとして、自然エネルギーが見直され、どの家庭にも太陽光パネルの設置が義務づけられた。

これにもないクローズアップされたのが雨活パネルだった。

雨を最大限利用したこのパネルは電気を作るだけではなく、作った後の雨水は生活用水として利用する事ができる。

「今まで雨を利用しなかったなんて、すぐくもったいないう事をしてたんだね。」友達の言葉に僕は大きくうなずいた。

使う事しか考えてなかったから、原子力発電なんかにはよるしかなかったんだ。

放射能で汚染され何方人もの被曝者をだしてしまった昔。僕はもう同じ事をくり返してはいけないんだ。雨活パネルを足がかりに僕は自然と共に歩きたすんだ。

明日の未来のために。